

浦幌川柳会

課題吟「風」
つむじ風捨て身で守り見栄を張る
日々の風かくれた角が生き残り
考える事嫌になつたと風の私語
風向きを詠んで妥協の歩幅置く
良風を願ひ農民腕まくり
春風に義理だてをしてクロッカス
凧とばすあの風この風暮らし向き
わが道の余生を責める北の風

星 愛子
加藤 未貴
橋本 葉子
阿部 麗紅
佐藤 長栄
山村 幹雄
白木 二十重
竹村 鮮明

浦幌短歌会

三月の居間にひよろひよろ伸びてくる
カンガルーポウのたよりなき茎
長らへて恋しき人もあらねども
四月はちちはの祥月^{とち}命日
子供住む町へと春を拓友^{とち}が去る
引きとめる術なきが悲しき
先輩を訪ねて戻るかつて住みし
海近き街の春のさびしさ
花キリン赤く小さく咲き継ぎぬ
秋に捨てたるものを惜しむな
人けなき舗道を駆ける少年の
汗の匂いが春風にのる
事務室の奥から聞こえる咳のこえ
快くなりかけの吾が身にひびく
ほたほたとしばしを積まん春の雪
昨夜より遠し白鳥のこえ
漬物に六文銭と名付けある
真田幸村の忠節を噛む
算数の授業のあの子の2+2は
しあわせの4だと答えていたり

山崎 阿己
福澤 米子
米司 好美
長谷川アキ
山口 恵子
星 愛子
後藤 年子
亀田みや子
柴田 弘子
藤井 桃子

ことぶき俳句会

迷惑な贈り物かな春の雪
木の芽どき新マンションの老眼鏡
クロッカス紫白と寒きなか
水仙のラッパの中から春が来る
菊根分けクラスメートの若かりし
孫の子のひとり立ちする鯉幟
雪折れの連翹小さき芽を出せり
癌告知かぞえ八十路の春なりき
夜桜や飛行機で発つ孫二人
こぶし咲く羽のない手を広げあい

大山さよ子
越坂 順子
下坂 しず
徳地はつ子
橋本 葉子
羽柴 秋子
福澤 米子
福原 仁子
宮部あき子
高橋 悦子

上浦幌句の会

彼岸入り窓辺に可愛い福寿草
ふくよかな風に因んで童うた
牛井を食べにと急いで事故にあう
病む友よ今だ癒えぬか今日も空席^{から}
答弁がオウムがえしその程度
凜として世の荒波に巣立つ孫
氷柱にもやさしい春が見え隠れ
米寿越え鍵^キ盤^イも確かな母の指
集い来てホームに春の陽が温い
孫帰り静まりし日々今日も過ぎ

笹島カヨ子
経堂 ハナ
河村みよ子
山田 ナツ
大西 功
山田 エツ子
福田すま子
芳川 乙美
広瀬マサヨ
朝日ヒロエ

みんなの文芸

編集後記

皆さんは「雪室ばれいしよ」
食べたことがありますか。農協
の西町事業所で販売しています
が、テレビで放映されたことも
あり、町内よりも町外からの問
い合わせが多いと話されていま
した。取材にお伺いしたとき
「食べてみな」といただき、妻
に定番のじゃがバターをリクエ
ストしました。仕事を終え帰宅
アツアツのジャガからトロリと
溶け出すバター、横にはビール
と準備万端です。しかし、既
にご飯を食べ終え、お腹いっぱ
いのはずの娘が横から覗き込み
ます。息を吹きかけ冷まし、娘
に一口あげたのが失敗です。「い
も、いも」の連続攻撃です。私
は食べる間もありませんでした。
新たに作り組んでいる手作り
味噌は、講師などの手配もして
いただけるとのことです。ぜひ、
お問い合せを。第3弾、第
4弾の企画にも期待です。
(やす)

掲載された写真は、差し上げ
ますので(本人または家族)お
気軽にご連絡下さい。